

株 主 通 信

第 122 期 決算

2013年4月1日から2014年3月31日まで

証券コード：6448

At your side.



Brother
Earth



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第122期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2013年度は、新興国では先行き不透明な状況が続いたものの、日本での景気の回復基調の持続、米国での緩やかな成長の持続、欧州での景気の緩やかな回復がみられました。

このような状況の中、ブラザーグループの売上高は、米州及び中国を含むアジアにおいて、通信・プリンティング機器が堅調に推移したこと、工業用ミシンの需要が回復したこと、株式会社ニッセイを連結子会社とした効果などに加え、円安による為替のプラス影響もあり、前年度を上回り過去最高の売上高となりました。また、営業利益においても販売費や一般管理費などの費用増加はあるものの、売上増や為替影響などにより、大幅な増益となり、6年ぶりに400億円を超えました。

2014年度につきましては、中期戦略CS B2015の達成に向けた「成長を加速する年」として、グループ一丸となって邁進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小池利和



At your side.

いつもお客様第一に考え、
優れた価値を創造し、迅速にお届けしたい。
“At your side.”という言葉には、
そんなブラザーグループの思いが込められています。
この“At your side.”の精神のもと、
ブラザーグループは、
地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、
世界中のお客様が実現したい
新しいライフスタイルやワークスタイルを、
製品やサービスを通じて応援していきます。



よりよい地球環境を、あなたとともに。

CONTENTS 〈目次〉

01 株主の皆さまへ

02 目次

03 特集

中期戦略「CS B2015」の4年目に入りました

07 連結決算の概況

2013年度の業績概況／2014年度の業績見通し／配当金について

09 主要事業セグメントの 営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業
パーソナル・アンド・ホーム事業
マシナリー・アンド・ソリューション事業
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業
工業用部品事業

13 トピックス

大規模災害復興支援活動
「2014 愛知環境賞」金賞を受賞
ブラザーの環境保全活動(オーストラリア)

16 連結経営指標

17 連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

19 連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)／キャッシュ・フロー計算書(要旨)／
株式資本等変動計算書(要旨)

21 株式の状況

22 会社の概要

この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があることをご承知おきください。

この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

特集

▶ 中期戦略「CS B2015」の4年目に入りました

ブラザーグループは中長期ビジョン「グローバルビジョン21」を策定し、目指すべき3つの項目を掲げています。

グローバル
ビジョン21

- ① 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
- ② 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
- ③ 「“At your side.”な企業文化」を定着させる

グローバルビジョン21実現に向けたロードマップとして中期戦略を策定しており、2011年4月からスタートした中期戦略「CS B2015」では“Back to Growth ～成長への再挑戦～”をテーマに、成長戦略に挑戦しています。中期戦略の策定後、さまざまな事業環境の変化はあるものの、成長戦略を描き、グローバルで最適な生産体制を構築した今、設備投資や研究開発投資、M&Aをはじめ、各事業・各地域において販売拡大に向けたさまざまな取り組みを積極的に実行することにより、新規事業を含む全ての事業において拡大し、2014年度売上高6,700億円、2015年度売上高7,500億円を目指します。

2015年度目標

売上高 **7,500**億円

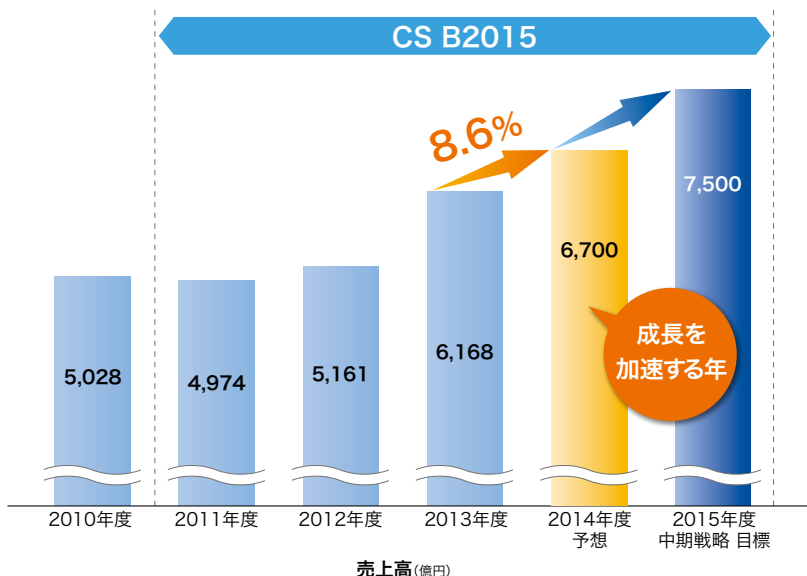
営業利益 **580**億円

営業利益率 **7.7**%

※2015年度目標値の為替前提：
1米ドル=100円、1ユーロ=100円、1人民元=20円

全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
- 新興国での拡大
- グローバル戦略の推進
- M&A、アライアンスの推進



CS B2015達成に向けた各事業の取り組み

■プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業

プリンター、複合機、電子文具など

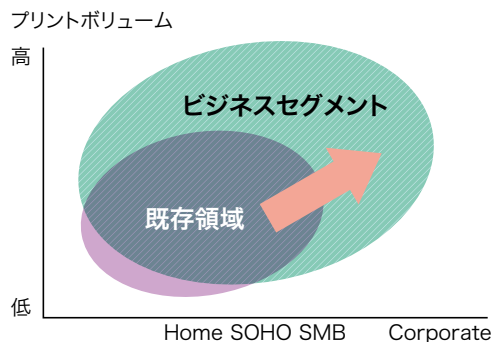
プリンター、複合機に関しては、すべての地域で積極的な販売投資を実行し、売上を拡大いたします。

○先進国では、既存販売チャネルでのプレゼンスを維持するとともに、プリントボリュームの多いSMB(中小規模の企業)の顧客に向けた販売投資を強化します。

○新興国では、モノクロレーザー製品の新興国向けモデル拡販に向けて、プロモーション活動のサポート、セールス人員の増強など販売チャネル強化のための施策を実施します。

○日本では、インクジェット製品のシェア拡大のため、積極的なマス広告戦略、年賀状アプリによる付加価値の訴求などの施策を継続して実施します。

電子文具に関しては、オフィス分野での安定成長の実現、ソリューション分野での成長の加速、新興国市場の拡大、新規カテゴリー製品の投入に注力します。



カラーレーザー複合機
MFC-9340CDW



モノクロレーザープリンター
HL-1110



インクジェットプリンター
DCP-J4215N



ラベルプリンター
TD-2130NSA



ピータッチ
2730



モバイルプリンター
PJ-673

■ パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業

家庭用ミシンなど

家庭用ミシンに関しては、中高級機種の販売を拡大するとともに、新興国市場での販売を拡大します。

職業用刺しゅうミシンに関しては、セールス人員の強化や使い方提案などにより新規顧客の獲得に注力します。

また、昨年発売したカッティングマシンについては、販売チャネルの開拓、顧客への継続的な新機能・楽しみ方の提供などを通じ、クラフト市場での販売拡大を図ります。



■ マシナリー・アンド・ソリューション(M&S)事業

工業用ミシン、産業機器など

工業用ミシンに関しては、ユーザビリティの高い本縫ミシンを投入しシェア拡大を目指します。また香港に新会社を設立してアジア地域の販売拠点を再編・強化し、顧客接点力を高めることで拡販を図ります。加えてボンディングマシンやガーメントプリンターなど、付加価値の高い製品群による顧客満足度の向上にも力を入れます。産業機器に関しては、自動車、二輪メーカー向け工作機械の販売力を強化します。具体的には、中国・東南アジアでのテクニカルセンターの増強、定期的なカスタマーサポートの実施、技術サポート力の強化などを進めるとともに、新製品も投入します。



本縫いミシン
S7000DD



ガーメントプリンター



SPEEDIO
S500X1



複合加工機
M140X1

■ ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

通信カラオケ、コンテンツサービスなど

業務用通信カラオケに関しては、商品力・営業力を強化し、シェア拡大を図ります。加えて、直営店舗事業を拡充し、収益の安定化と着実な成長を目指します。また、カラオケコンテンツの海外展開や、オルゴール、JOYBEATなど、コンテンツを活かした新規事業の育成・拡大を図ります。



カラオケ直営店舗



オルゴール(Primotone)

■ 工業用部品事業

減速機、歯車

2012年度に連結子会社化した株式会社ニッセイとの早期のシナジー実現のための活動として、北米における減速機事業を強化するとともに、歯車事業ではロボット業界への拡販に注力します。加えてさらなる飛躍のため工場環境を整備します。



減速機



歯車

新規事業 スキャナー、Web会議システムなど

スキャナーに関しては、SOHO市場でのシェア拡大に向け製品競争力を強化するとともに、付加価値を高めるためのソフト・サービスの充実を図ります。

Web会議システムに関しては、SMB(中小規模の企業)顧客に対して積極的な営業活動を実施すると共に、専任マーケティング部隊によるソリューション提案を推進します。



ドキュメントスキャナー
ADS-2500W



ポータブルスキャナー
ADS-1500W



モバイルスキャナー
MDS-700D



Web会議システム
OmniJoin

連結決算の概況

2013年度の業績概況

2013年度のブラザーグループの売上高は、円安による為替のプラス影響に加え、米州及び中国を含むアジアにおいて、通信・プリンティング機器が堅調に推移したこと、工業用ミシンの需要が回復したこと、株式会社ニッセイを連結子会社とした効果などにより、前年度比19.5%増の6,168億3千4百万円となりました。営業利益は、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業が減収となったものの、為替のプラス影響もあり、前年度比45.4%増の433億1百万円

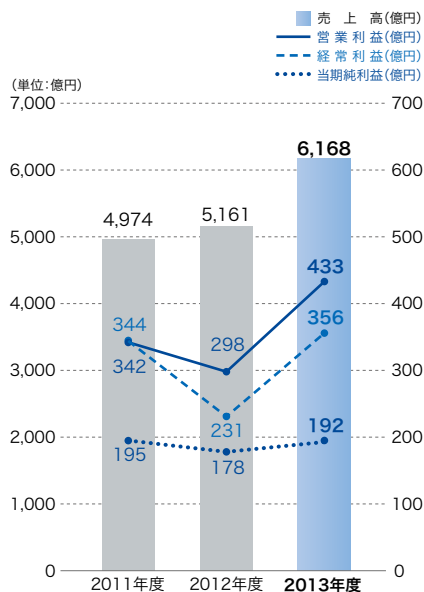
となりました。経常利益は、円安に伴い、為替予約に係る決済差損が増加したものの、営業利益の増加により、前年度比53.9%増の356億1千3百万円となりました。

(単位:億円)

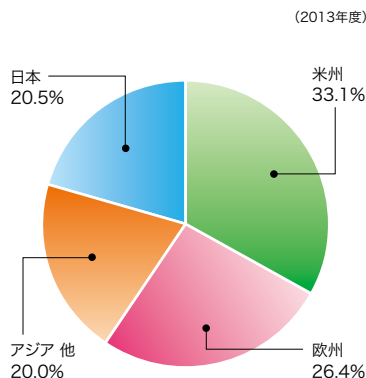
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年度 連結業績	6,168	433	356	192

※2013年度連結業績における平均為替レートは次の通りです。
1米ドル=100円、1ユーロ=134円

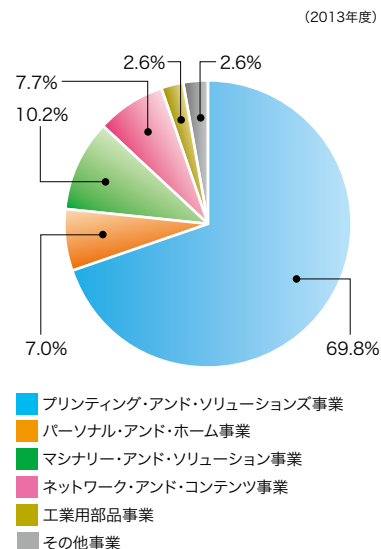
業績の推移



市場別売上高の構成比



事業セグメント別売上高の構成比



2014年度の業績見通し

2014年度につきましては、中国など新興国においては、景気減速の懸念があるものの、日本をはじめとする先進国の経済は、緩やかな拡大へと向かう期待が高まっています。

このような状況の中、売上高は、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業を中心に当社製品に対する需要が引き続き堅調であることを見込むほか、各事業・各地域において、販売拡大に向けた様々な取り組みを積極的に実行することにより、対前年度で増収となる見通しです。

営業利益は、成長のための販売投資や開発投資、減価償却費の増加などのマイナス影響はあるものの、為替のプラス効果もあり、増益となる見通しです。

経常利益は、営業利益の増加に加え、為替予約に係る損益の改善効果により増益を見込んでおり、当期純利益も、固定資産の売却による特別利益の計上および税効果会計の影響による税負担減少などにより大きく増益となる見通しです。

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2014年度 連結業績見通し	6,700	470	430	460

※2014年度通期業績見通しは次の為替レートを前提としております。
1米ドル=100円、1ユーロ=138円

配当金について

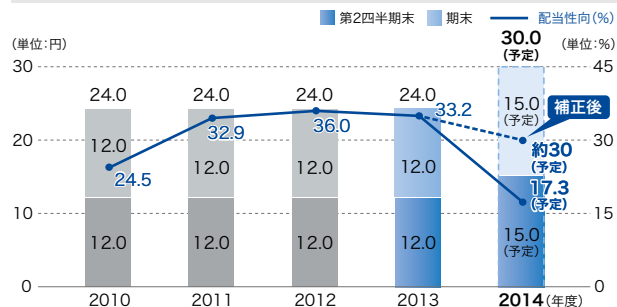
株主の皆さまへの配当金につきましては、成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じた積極的な利益還元を実施することを基本方針としています。

2013年度の配当金につきましては、予定どおり期末配当を1株当たり12円とし、実施済みの第2四半期末配当とあわせ、年間で24円とさせていただきます。

2014年度につきましては、1株当たり年間6円増配し、年間30円の配当を予定しております。

連結配当性向は、固定資産売却や税効果といった一過性の要因で当期純利益の水準が非常に高くなることから、17.3%となりますが、これら一過性の影響を除いた税引き前利益と法人税で計算した当期純利益に補正しますと、年間1株30円の配当で連結配当性向はおおよそ30%になると考えております。

1株当たり配当金



主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

事業紹介

プリンティング技術を追求し、ワークスタイルの革新を提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、一台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、直感的な使いやすさにこだわったラベルライターなど、SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)をはじめとするオフィスでの幅広いニーズにお応えします。

主要製品等

プリンター、複合機、ファクス、電子文具、スキャナー、タイプライター

売上高

4,308億2千6百万円

●通信・プリンティング機器

米州及び中国を含むアジアにおいて、製品本体・消耗品とも需要が堅調だったことに加え、為替のプラス影響もあり、前年度比22.5%増の3,841億3千7百万円となりました。

●電子文具

主に日本・アジア地域で売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、前年度比25.0%増の466億8千8百万円となりました。

営業利益

309億5千7百万円

販売費及び一般管理費の増加のマイナス影響はあるものの、為替のプラス影響により、前年度比64.4%増の309億5千7百万円となりました。

製品紹介

インクジェットプリンター 「DCP-J4215N」

奥行きわずか290mmの本体でA3印刷が可能。パソコンなしでも簡単に楽しく年賀状作りができる「年賀状アプリ」機能を搭載しました。



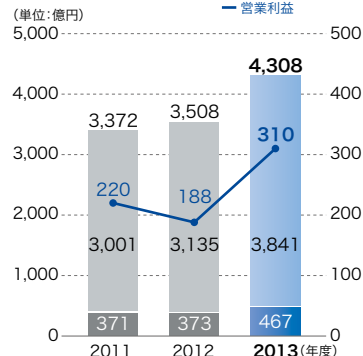
ドキュメントスキャナー 「MDS-820W」

コンパクトで持ち運び可能なモバイルタイプのドキュメントスキャナーです。リチウムイオン充電電池搭載・無線LAN対応でパソコンなしでもスキャン可能です。

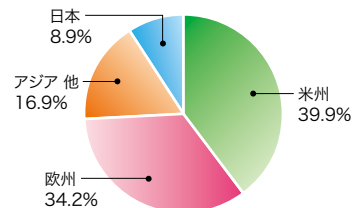


◎売上高／営業利益

- 売上高:通信・プリンティング機器
- 売上高:電子文具
- 営業利益



◎市場別売上高の構成比(2013年度)



パーソナル・アンド・ホーム事業

事業紹介

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。従来型のミシンに加え、パソコンを介してインターネットに接続する“ソーイングステーション”など、製品とサービスを通して、手づくりの新しい可能性を広げます。

主要製品等

家庭用ミシン

売上高

432億7千5百万円

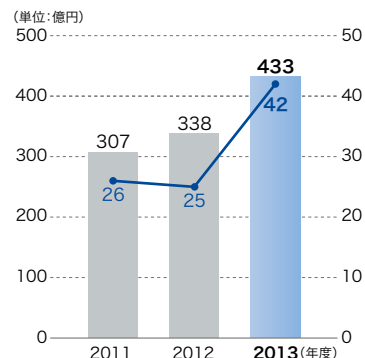
主に欧米において売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、前年度比28.0%増の432億7千5百万円となりました。

営業利益

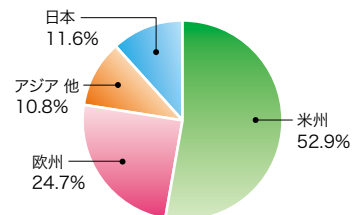
42億1千5百万円

主に為替のプラス影響により、前年度比69.4%増の42億1千5百万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比(2013年度)



製品紹介

家庭用刺しゅうミシン 「イノヴィス LA」

クラフト刺しゅう224模様に加えて、ローラアシュレイ®監修の刺しゅう模様を60模様(49種類)内蔵しています。



*グローバルに展開する女性向けライフスタイルブランド

カッティングマシン 「Scan N Cut」 CM110

スキャナーを内蔵した世界初*のカッティングマシンです。好きな模様や手描きのイラストなどを読み取って、独自の切り抜きデータを作成し、布や紙を思い通りの形にカットできます。



* 2013年12月5日時点。ブラザー調べ。
家庭用カッティングマシンにおいて。

マシナリー・アンド・ソリューション事業

事業紹介

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用マシンや、自動車やハードディスクドライブ、携帯電話などの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

主要製品等

工業用マシン、産業機器

売上高

630億9千7百万円

●工業用マシン

中国・アジア地域における、縫製産業の設備投資需要の回復を受け、前年度比41.6%増の267億8千1百万円となりました。

●産業機器

IT関連産業向けの大口受注が一巡した影響により、前年度比14.6%減の363億1千6百万円となりました。

営業利益

49億9千万円

工業用マシンが増収となったことに加え、為替のプラス影響もあり、前年度比24.6%増の49億9千万円となりました。

製品紹介

ダイレクトドライブ プログラム式電子マシン 「BAS-311H」

あらかじめ登録した縫製プログラム通りに自動的に縫製ができるプログラム式電子マシンです。縫製範囲を150×100mmへ拡大し、世界最高縫い速度*2,800針/分を達成しながらも、従来機(BAS-311G)より低価格を実現しました。



* 2014年1月20日時点。ブラザー調べ。

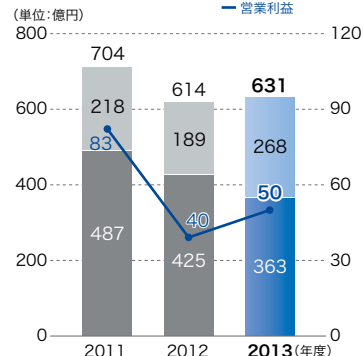
コンパクトマシニングセンタ 「SPEEDIO S500X1」

ブラザー独自の技術をベースに圧倒的な生産性を実現。自動車・IT関連機器など幅広い加工現場において、高い加工能力を発揮します。

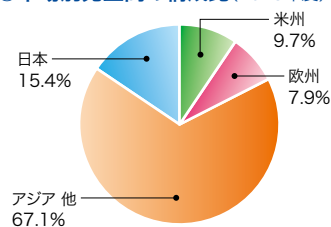


◎売上高／営業利益

■売上高：工業用マシン
■売上高：産業機器
— 営業利益



◎市場別売上高の構成比(2013年度)



ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

事業紹介

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

主要製品等

業務用通信カラオケシステム、コンテンツサービス

売上高

475億8千2百万円

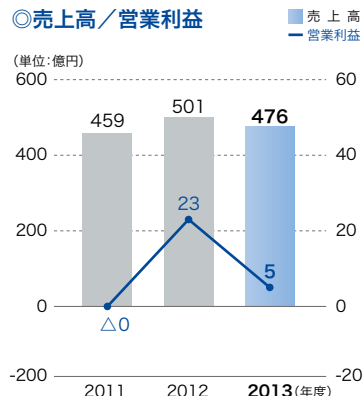
前年に発売した通信カラオケ機器の新製品効果が一巡した影響により、前年度比5.0%減の475億8千2百万円となりました。

営業利益

4億5千1百万円

売上の減少に加え、カラオケ店舗事業の競争力強化のための投資などの費用の増加のマイナス影響により、前年度比80.5%減の4億5千1百万円となりました。

◎売上高／営業利益



※ネットワーク・アンド・コンテンツ事業の売上は、日本が売上の大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業

事業紹介

小型ギアモーターをはじめとする減速機事業においては、豊富な製品バリエーションや特注品対応力を持っています。歯車事業においては、各種小型歯車の生産力や一貫生産能力などを強みとしています。両事業とも国内において高いマーケットシェアを維持しています。

主要製品等

減速機、歯車

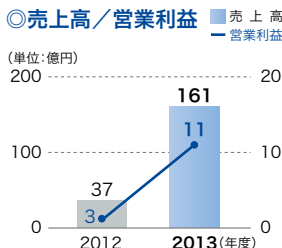
売上高

160億9千8百万円

営業利益

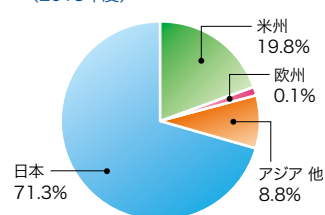
11億6百万円

◎売上高／営業利益



※2012年度は連結後の第4四半期のみ

◎市場別売上高の構成比 (2013年度)



※工業用部品事業は、当年度より新たに開示するセグメントのため、前年度との比較はありません。

トピックス 大規模災害復興支援活動

◆ 東日本大震災 継続的な復興支援活動

「きずな工房」へミシンの寄贈と、講習会を実施

2013年11月、家庭用ミシン事業を展開するブラザー工業 P&Hカンパニーの従業員が、宮城県七ヶ浜町の「きずな工房」を訪れ、ミシンの寄贈と講習会を行いました。また、以前寄贈したミシンのメンテナンスもあわせて行いました。これまでもミシンの寄贈や、この工房で手作りされた布製品をブラザー夏祭りでチャリティー販売するなど、さまざまな形で「きずな工房」を支援しています。



▲「きずな工房」のみなさん

今年もワカメ養殖用のサンドバッグを東北へ

2012年8月に送った漁具「サンドバッグ」の試作品の試験結果を現地に出向いてヒアリングし、改良を加えたサンドバッグ840枚を2013年8月に宮城県七ヶ浜町へ送りました。従業員とその家族163名がこのサンドバッグを手づくりする活動に参加しました。また、現地では6名のボランティア従業員がサンドバッグへの砂入れ作業を手伝いました。

※サンドバッグは、中に砂を入れてワカメの養殖用の重りとして使われています。



▲ 砂入れ作業

◆ フィリピン台風災害支援活動

日本やU.A.E.などからの支援活動

2013年11月にフィリピンを襲った台風30号(フィリピン名Yolanda)は、フィリピン災害史上最大級の被害をもたらしました。ブラザーグループでは、10万ドルの義援金をフィリピン赤十字社に送るとともに、国内外の従業員に募金を呼びかけました。日本、フィリピン、シンガポール、U.A.E.などの1,000名を超える



▲ 日本での募金活動



▲ U.A.E.からの支援物資

ブラザーグループ従業員から 合計で約138万円以上の義援金と、多くの支援物資が集められました。これらは、フィリピンの災害支援NGOへ送られ、被災地の復興支援に使われています。

ブラザー工業は、「2014 愛知環境賞」において金賞を受賞しました。愛知環境賞は、愛知県が主体となり、資源の循環や環境負荷の低減を目的とした企業、団体などによる優れた取り組みを表彰し、広く社会に紹介することで資源循環型社会の形成を促進することをねらいとしています。2005年にこの制度が創設されて




▲「2014 愛知環境賞」表彰式

以来、今回が10回目の表彰で、53の企業、団体などから応募がありました。ブラザー工業は、製品の環境負荷低減に配慮したモノ創りをしていること、各国の法規制に対応した独自の環境情報システムを構築し、グローバルな環境経営を実践していることが評価されて、JR東海と並んで金賞を受賞しました。表彰式では、ブラザー工業社長の小池が大村愛知県知事から表彰状とトロフィーを受け取りました。表彰式後の意見交流会では、受賞した企業の取り組みを紹介するパネル展示が行われ、表彰式に参加した皆さんにブラザー工業の受賞内容を紹介しました。



▲意見交流会でパネルの説明をした皆さん



ブラザーの 環境保全 活動

ブラザーグループでは、
持続的発展が可能な社会の構築に向け、
世界各地で様々な活動に取り組んでいます。
その中から、今回はオーストラリアでの活動をご紹介します。

マンタの生態を調査

ブラザーインターナショナル(オーストラリア)(以下、BIA)と同国の生物多様性保全に取り組むNPO「アースウォッチ」はオーストラリア特有の海洋環境の解明と保全に向け、クイーンズランド大学のキャシー・タウンゼンド博士とともに、オーストラリアの海を象徴するマンタの生態研究と保護、絶滅の危機にさらされているウミガメへの海ごみの影響評価に取り組んでいます。

マンタは、胸びれを広げると横幅が7メートルにもなる世界最大のエイであり、その生態がほとんど分かっていないことから、タウンゼンド博士たち研究グループは「プロジェクト・マンタ」と名づけた研究で、マンタの行動・生態・移動パターンなどを明らかにして保護活動に役立てようとしています。これまでの研究で600頭近くのマンタが確認され、生息場所や移動経路、マンタが好む水深や水温、食事に関する情報



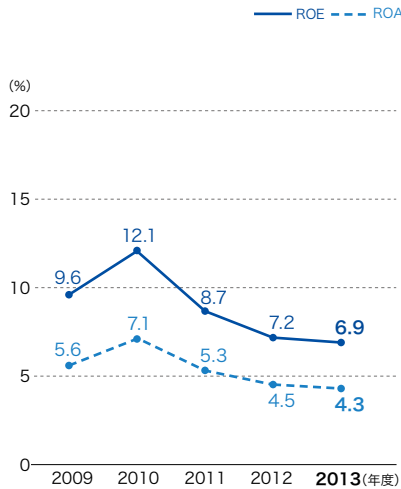
などが得られ、次第にその生態が明らかになっています。BIAは、引き続きこれらの活動に取り組んでいきます。



よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

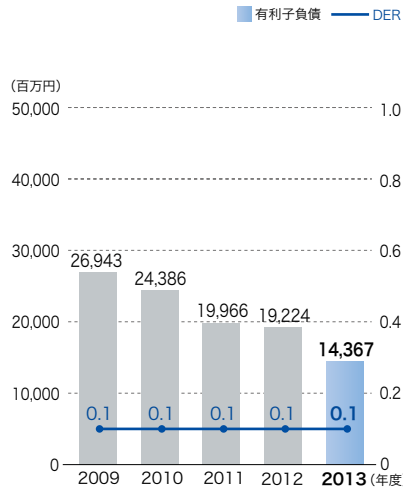
連結経営指標

ROE・ROA



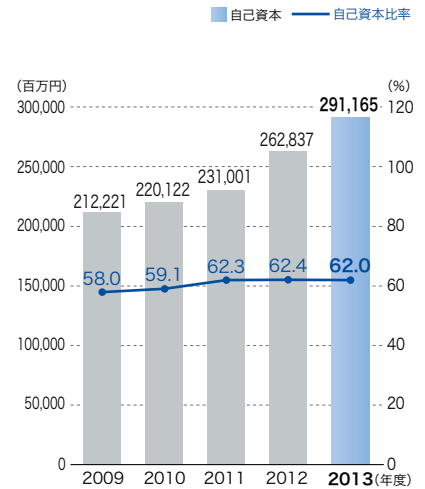
※ROE=当期純利益/自己資本（期首・期末平均）
 ※ROA=当期純利益/総資産（期首・期末平均）

有利子負債・DER



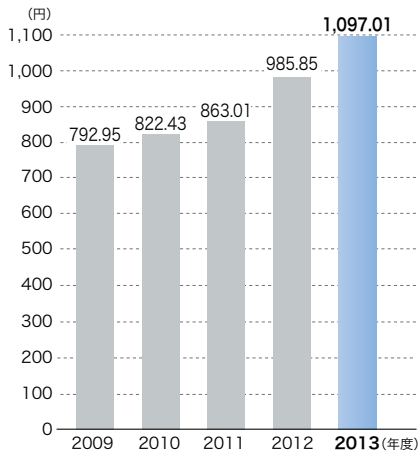
※DER=有利子負債/自己資本

自己資本・自己資本比率

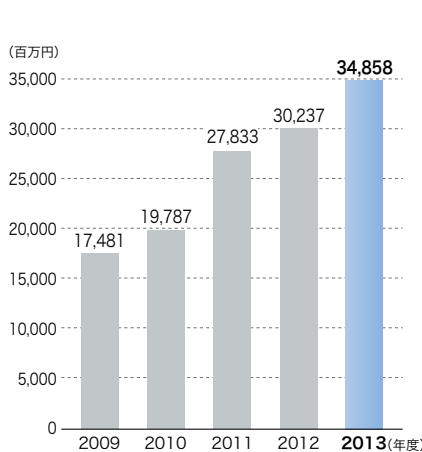


※自己資本比率=自己資本/総資産

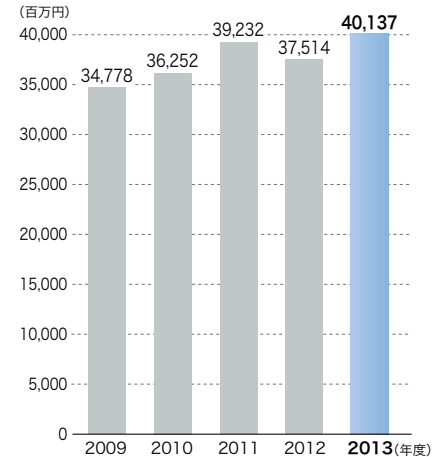
1株当たり自己資本



設備投資額



研究開発費



連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	2013年度 (2014年3月31日現在)	2012年度 (2013年3月31日現在)	増 減
《資産の部》			
流動資産	290,252	248,554	41,697
現金及び預金	71,357	52,320	19,037
受取手形及び売掛金	90,490	80,418	10,071
たな卸資産	103,406	87,679	15,727
その他	24,997	28,135	△ 3,138
固定資産	179,720	172,940	6,780
有形固定資産	100,422	88,588	11,834
建物及び構築物	49,413	38,388	11,025
機械装置及び運搬具	17,446	15,380	2,066
工具、器具及び備品	16,050	14,293	1,756
土地	14,329	14,078	250
その他	3,181	6,447	△ 3,265
無形固定資産	19,917	19,682	235
投資その他の資産	59,380	64,668	△ 5,288
資産合計	469,973	421,494	48,478

資産合計

現金及び預金やたな卸資産等の増加により、前期末に比べ485億円の増加となりました。

(単位:百万円)

科目	2013年度 (2014年3月31日現在)	2012年度 (2013年3月31日現在)	増減
《負債の部》			
流動負債	116,797	107,054	9,743
支払手形及び買掛金	42,771	32,107	10,664
短期有利子負債	1,466	6,524	△ 5,058
未払法人税等	2,640	2,998	△ 357
その他	69,917	65,423	4,494
固定負債	44,865	35,670	9,194
長期有利子負債	12,900	12,700	200
その他	31,965	22,970	8,994
負債合計	161,662	142,724	18,937
《純資産の部》			
株主資本	289,974	278,341	11,632
資本金	19,209	19,209	—
資本剰余金	16,682	16,463	218
利益剰余金	268,156	255,639	12,517
自己株式	△ 14,074	△ 12,971	△ 1,103
その他の包括利益累計額	1,190	△ 15,503	16,694
その他有価証券評価差額金	4,209	2,344	1,864
繰延ヘッジ損益	△ 1,534	△ 443	△ 1,090
為替換算調整勘定	4,494	△ 17,405	21,899
退職給付に係る調整累計額	△ 5,978	—	△ 5,978
新株予約権	532	458	74
少数株主持分	16,613	15,473	1,139
純資産合計	308,310	278,769	29,540
負債及び純資産合計	469,973	421,494	48,478

● **有利子負債**

長期借入金が増加したものの、短期借入金の減少により、有利子負債は短期・長期合計で前期末に比べ49億円の減少となりました。

● **自己資本比率**

利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したものの、退職給付に関する会計基準等の適用によるマイナス影響もあり、自己資本比率は前期末の62.4%より0.4ポイント減少し62.0%となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2013年度 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	2012年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	増減
売上高	616,834	516,066	100,767
売上原価	349,014	300,006	49,008
売上総利益	267,819	216,060	51,759
販売費及び一般管理費	224,518	186,284	38,234
営業利益	43,301	29,775	13,525
営業外収益	7,780	2,522	5,257
営業外費用	15,467	9,153	6,313
経常利益	35,613	23,144	12,469
特別利益	794	9,797	△ 9,002
特別損失	2,880	4,995	△ 2,114
税金等調整前当期純利益	33,527	27,946	5,581
法人税等	13,651	10,088	3,562
少数株主損益	655	30	624
当期純利益	19,220	17,826	1,394

売上高

円安による為替のプラス影響に加え、米州及び中国を含むアジアにおいて、通信・プリンティング機器が堅調に推移したこと、縫製産業の市況改善により、工業用ミシンの需要が回復したこと、株式会社ニッセイを連結子会社とした効果などにより、増収となりました。

営業利益

通信カラオケ機器の新製品効果が一巡したネットワーク・アンド・コンテンツ事業が減収となったことや、販売費及び一般管理費などの費用増加の影響があるものの、円安による為替のプラス影響もあり、増益となりました。

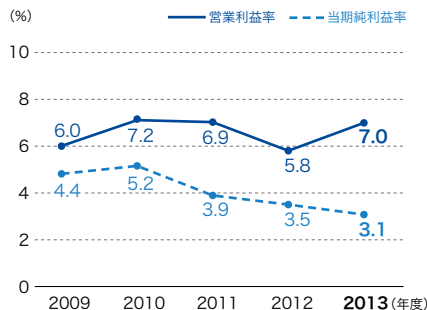
経常利益

円安に伴い、為替予約に係る決済差損が増加したものの、営業利益の増加により、増益となりました。

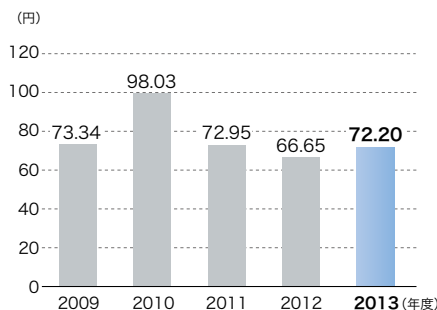
当期純利益

税効果会計の影響で法人税等が増加したものの、増益となりました。

営業利益率・当期純利益率



1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2013年度 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	2012年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,019	32,734	22,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,099	△ 41,771	2,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,433	△ 6,413	△ 7,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,877	10,569	△ 3,691
現金及び現金同等物の増減額	9,364	△ 4,882	14,246
現金及び現金同等物期首残高	55,059	58,731	△ 3,672
新規連結・合併による現金増加	4,511	1,209	3,301
現金及び現金同等物期末残高	68,934	55,059	13,875

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は335億円となり、減価償却費などの非資金損益の調整のほか、仕入債務の増加などによる資金増減や法人税等の支払などを差し引いた結果、550億円の収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出276億円、無形固定資産の取得による支出66億円、投資有価証券の取得による支出111億円などにより、391億円の支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少56億円、配当金の支払額63億円などにより、134億円の支出となりました。

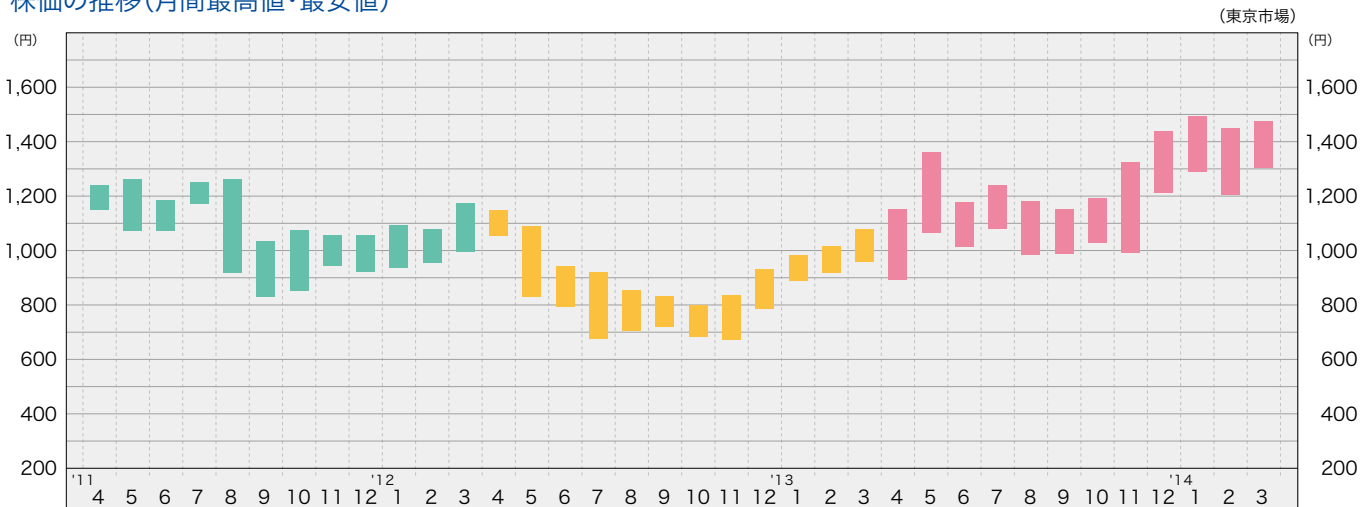
株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算 差額等	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
当期首残高	19,209	16,463	255,639	△ 12,971	278,341	△ 15,503	458	15,473	278,769
当連結会計期間中の変動額	—	218	12,516	△ 1,103	11,632	16,694	74	1,139	29,540
剰余金の配当	—	—	△ 6,378	—	△ 6,378	—	—	—	△ 6,378
当期純利益	—	—	19,220	—	19,220	—	—	—	19,220
自己株式の取得/処分	—	218	—	△ 1,103	△ 884	—	—	1,122	237
その他	—	—	△ 325	—	△ 325	16,694	74	17	16,460
当期末残高	19,209	16,682	268,156	△ 14,074	289,974	1,190	532	16,613	308,310

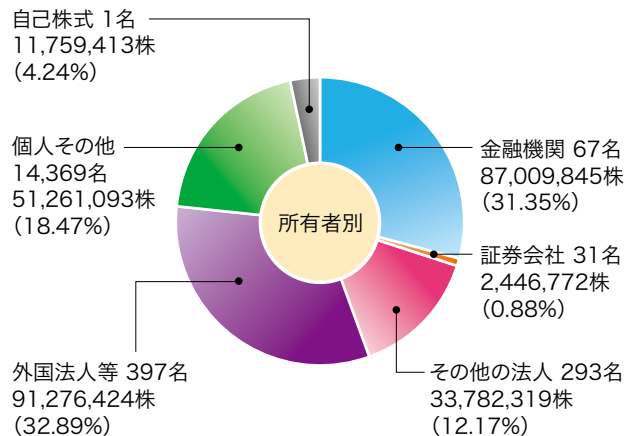
株式の状況

株価の推移(月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2014年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………15,158名



大株主 (上位10名)

(2014年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー※	18,559	6.69
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)※	15,026	5.41
日本生命保険相互会社	12,839	4.63
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)※	9,951	3.59
株式会社三井住友銀行	8,398	3.03
プラザグループ従業員持株会	4,590	1.65
住友生命保険相互会社	4,499	1.62
朝日実業株式会社	4,310	1.55
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント※	4,244	1.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,796	1.37

- 注1：持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2：持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。
 注3：※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。
 注4：上記のほか、自己株式が11,759千株(持株比率4.24%)あります。

会社の概要

基本データ (2014年3月31日現在)

商号	ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561 TEL : 052-824-2511 (代表)
設立	1934年1月15日
資本金	192億9百万円
上場証券取引所	東証1部、名証1部
従業員※	連結 : 33,118名 単独 : 3,858名 ※正社員のみ
グループ会社	連結子会社62社、持分法適用会社5社 (日本18社、米州9社、欧州19社、アジアその他21社)

役員 (2014年4月1日現在)

【取締役】

小池 利和	※代表取締役社長	内部監査部、新規事業推進部、経営企画部 直轄
石川 茂樹	※代表取締役専務執行役員	プリンティング事業統括 兼 QM推進部、CS推進部、開発管理部、知的財産部 担当
長谷川友之	※取締役常務執行役員	工業用部品事業統括 兼 IT戦略推進部 担当
平野 幸久	*取締役	
西條 温	*取締役	
服部 重彦	*取締役	
深谷 紘一	*取締役	

【監査役】

成田 正人	監査役 (常勤)	
高次 正樹	監査役 (常勤)	
松尾 邦弘	*監査役	
海野 隆雄	*監査役	
丸山 弘昭	*監査役	

【常務執行役員】

神谷 純	N&C事業統括 兼 ネットワークシステム開発部、N&C事業推進部 担当
浅井 侯序	グローバルCSR 推進部、コーポレートコミュニケーション部、法務・総務部 担当 兼 グローバルCSR 推進部長
松本勇美夫	E&I事業統括 兼 開発企画部、電子システム開発部、メカシステム第1開発部、メカシステム第2開発部、LE開発部、ES開発部 担当
亀之内孝文	第1営業企画部、第2営業企画部、マーケティング推進部、プリンティング事業推進部、E&I事業推進部、サービス&ソリューションズ事業推進部 担当
佐々木一郎	サービス&ソリューションズ事業統括 兼 ソフトウェア第1開発部、ソフトウェア第2開発部、アプリケーション開発部 担当
川那辺 祐	マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー プレジデント

【執行役員】

藤井 宗高	財務部 担当
鈴木 雅彦	IE開発部、IE技術部、総合デザイン部 担当
三輪 祐司	製造企画部、製造部、購買部、環境推進部 担当
服部 親将	生産技術部、部品技術部、電子技術部、試作技術部 担当 兼 電子技術部長
若原 宏之	人事部 担当 兼 人事部長
久野 光康	パーソナル・アンド・ホーム カンパニー プレジデント

【グループ常務執行役員】

片山 俊介	ブラザー販売株式会社 代表取締役社長
石川 博	兄弟高科技(深圳)有限公司、兄弟工業(深圳)有限公司、珠海兄弟工業有限公司 董事長
石黒 雅	ブラザーインターナショナルコーポレーション(U.S.A.) 取締役会長

【グループ執行役員】

只 雄一	ブラザーホールディング(ヨーロッパ) 取締役社長、 ブラザーインターナショナル(ヨーロッパ) 取締役会長兼社長
------	--

注1 : ※印の取締役 小池 利和、石川 茂樹、長谷川 友之は執行役員を兼務しています。

注2 : *印の取締役 平野 幸久、西條 温、服部 重彦、深谷 紘一は社外取締役です。

注3 : *印の監査役 松尾 邦弘、海野 隆雄、丸山 弘昭は社外監査役です。

株主メモ

事業年度…………… 4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会…………… 毎年 6月
期末配当金受領株主確定日…………… 3月31日
第2四半期末配当金受領株主確定日…………… 9月30日
基準日…………… 3月31日
公告掲載URL …… <http://www.brother.co.jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

■ 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

※株券電子化に伴い、株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

アンケートご協力をお願い

本年度も引き続き株主アンケートを実施いたします。期日までに同封のアンケートはがきにご記入の上、返信いただいた方の中から抽選で10名様にインクジェットプリンター「アリオ DCP-J4215N」を進呈いたします。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561

展示館・ショールームのご案内

ブラザー コミュニケーション スペース



歴史と共に技術の変遷をたどる製品展示、主力製品の紹介展示、各種企画展示を行っております。ブラザーについて知っていただくためのおもてなし空間へ、ぜひお越しください。



<http://www.brother.co.jp/bcs/>

名古屋市瑞穂区塩入町5番15号 〒467-0851
TEL : 052-824-2227

ブラザー東京ショールーム



ホームからオフィスまで、さまざまなブラザー製品を体験できるスペースです。ブラザー製品をすでにお使いのお客様のご相談の場として、これからブラザー製品をお買い求めになるお客様のご検討の場として、ブラザー製品を心ゆくまで体験いただけます。

<http://www.brother.co.jp/tokyo-showroom/index.htm>

東京都中央区京橋3丁目3番8号 〒104-0031
TEL : 03-3281-1125